

加古川専売所通信 8月号

神戸新聞NEXTよりピックアップ 当店スタッフがこれぞ神戸新聞ならでは!と思ったおもしろ記事やオススメ連載記事、また繰り返し読んで欲しい地域の情報などをご紹介☆「あー、あのニュースね!」「へえ~そんな事あったんか!」と気軽に読んでみてください♪

Photo Gallery

個性豊かなアマビエ描く

7月31日



加古川市西神吉町西村、西神吉小学校の4年生約70人が、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願い、疫病よけの妖怪「アマビエ」を描いた。回工の時間を使い、コンテと水彩絵の具で1か月以上をかけて仕上げた力作。

イチジクふっくら甘く

8月11日



加古川市志方町で栽培されているイチジクの生産者や卸売業者が9日、同町横大路の集荷場に集まり、初出荷前に出来栄を確認する「日合わせ会」を開いた。今年は梅雨は長引いたものの、その後は晴天が続き、濃い赤色の果実が例年より大きく育ったという。

マリゴールド
夏色じゅうたん

8月12日



科学メーカー「リマ化成」加古川製造所(加古川市野口町水定)の敷地に、マリゴールドが咲き誇り、通りぬかった人の目を楽しませている。鮮やかなオレンジ色の花が広さ約1900平方メートルに植えられ、まるでじゅうたんのよう。11月ごろまで楽しめる。

私の戦争 戦後75年—久保孝雄さん(93)

7月12日

撃墜された機体から脱出し、パラシュートが開いた衝撃で気が付きました。両腕が尋常でなく痛み始め、ふと目をやると、ひどく焼けただれていました。そのまま山中に落下。近くの村人は米兵だと勘違いしたらしく、竹やりを持って近づいてきましたが、日本兵だと分かると手当てしてくれ、戸板に乗せて病院まで運んでくれました。その2日後の8月15日、天皇陛下が重大な放送をされるというので、病院内に緊張が走りました。中庭に軍医や看護師らが集まってラジオに耳を傾けていましたが、私は病室のベッドで考え事をしていました。しばらくして、すすり泣きが聞こえ始めました。ラジオは聞こえませんでした。それが意味するものは想像できました。

戦争に負けたことには、悔しさも悲しさもなかったんです。ソ連が満州(現中国東北部)に侵攻してきたこと、広島や長崎にたいの知れない爆弾が落とされて壊滅的な被害を受けたことなど、絶望的な状況であることは知っていましたから。飛行隊長から「米軍が九州に上陸してきたら全機が水際特攻で戦うように」という趣旨のことも言われていて、その覚悟すらしていましたから、むなしだけが残りました。

私は少年飛行兵として東京や中国・南京などで訓練を受け、特攻隊に志願したこともあります。国のために命をささげることが当たり前でした。一緒に訓練した多くの同期や先輩が、特攻で命を落としました。

戦争では、命は粗末に扱われます。私も、パラシュートで脱出する前には、人の命を奪おうとしていたわけですから。当たり前のように命のやり取りが行われる戦争を、二度と繰り返してはいけません。

(聞き手・小森有喜)

マコト・たかお 1926(大正15)年、印南郡東神吉村(現加古川市)生まれ。41年に少年飛行兵に志願し、翌年に練成学校入学。戦後は1男1女の父となり、NHK神戸放送局を退職後、加古川市内で学生服店を営んだ。趣味は海外旅行。

カード5枚詐取 85歳134万円被害

7月26日

24日午後、高砂市内の男性(85)が「警察官をかたる男にキャッシュカード5枚をだまし取られた」と高砂署に届けた。金融機関の口座から計134万2千円が引き出されており、同署は詐欺事件として調べる。同署によると、同日午後11時半ごろ、男性宅に高砂署員を名乗る男から「事件の犯人を逮捕した。あなたの通帳も持っているのでカードを回収する」と電話があり、応答した妻(66)が暗証番号などを伝えた。その後、妻は家を訪れた男にカード5枚を手渡したという。市内では同日昼ごろ、同様の不審な電話が他に5件相次いだ。

カード取られ50万円の被害

8月6日

5日午後、高砂市の女性(86)が「金融庁をかたる女に、キャッシュカード1枚を取られた」と高砂署に届け出た。女性の口座から現金50万円が引き出されたといい、同署が窃盗事件とみて調べている。同署によると、同日正午ごろ、女性宅に警察官を名乗る男から「詐欺師を捕まえた。口座からお金を引き出されている」と電話があった。電話を代わった女が金融庁の職員を名乗り「そのカードは使えないので取りに行く」と告げた。直後に女性宅を訪れた女が、女性にカードを封筒に入れさせ、その場を離れた際に別の封筒とすり替えられたとみられる。

市民プール・ひめじ手柄山遊園 お別れイベント始まる

8月2日

9月に閉鎖する姫路市民プール・ひめじ手柄山遊園(同市西延末)で1日、お別れイベントが始まった。新型コロナウイルスの感染対策でプールが営業できない代わりに、射的やスポーツ用具を増設。半世紀近く親しまれてきた施設の最後に、家族連れらは乗り物で遊んだり、メッセジを残したりして惜しんだ。1970年代にオープンし、身近なレジャー施設として定着したが、再整備計画で撤去が決定。運営する市まちづくり振興機構が、市内の小中学校の夏休みに合わせて「ファイナルイベント」を企画した。園内には、ボールを蹴ったり、的を狙ったりするスポーツ用具を用意。射的やスーパーボールすくいなどの緑日コーナーも置き、子どもたちが楽しんだ。30年来の常連という高砂市の会社員馬場大輔さん(38)は見納めにと立ち寄った。息子の康輝君(10)、慶太君(8)はメッセージボードに「プールのしかったよ。ありがとう」と記入。馬場さんは「やっぱりもう1回だけ来ようかな」と名残惜しそうだった。管理事務所によると、この日の入園者数は午後3時までに約50人とやや寂しいスタートに。後藤栄一所長は「プールが営業できていれば全然違っただろうが、訪れた人が過去を思い出し、満足してもらえれば」と話す。午後10時~午後5時。最終日の9月6日まで無休。☎079-296-0503



すたっふのつぶやき @kakogawasenbaisho · 1時間

姫路市民プール・ひめじ手柄山遊園...色々思い出します。(一ヶ月)

小学生の時に友達と3人で遊びに行った時のことです。時間が来ると大きな波が立つプールがあって、人気で、プールの中は大波を待つ人で賑わっていました。その時潜水が得意な友達が、プールの中の様子を見てくると言っていて、潜っていき...そこで見てはいけないものを見ました。青ざめた顔で戻ってきた友達と一緒に、私たちはすぐにプールから上がりました...写真は7月号で紹介した「かつめし味」です☆美味しかったです

01

04

04

1

すたっふのつぶやき 思い出の思い出!

最新ニュースをいつでも家族と共有できて安心! 電子版神戸新聞 神戸新聞NEXT

神戸新聞購読者の方は月額165円(税込)でご利用いただけます(ダブルコース)

お手続きはパソコン・スマホから5分ほどで完了!

お申込みは右のQRコードから、または「神戸新聞 電子版」で検索



株式会社 加古川専売所 加古川市米田町平津46-18 mail:kakogawa.senbaisho@gmail.com

TEL079-432-6888 FAX079-432-7991

HPはこちらから☆

